



笑顔いっぱい 夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより No.38
令和7年10月 8日
文責:校長 酒井 健

最近、めっきりと涼しくなってきました。また、インフルエンザやコロナも流行の兆しがみられます。子どもたちも、ご家族の皆様方も健康管理には十分ご注意ください。

◇中秋の名月・・・給食のメニューで「お月見」ができました。

10月6日(月)の給食は、「お月見メニュー」でした。メニューは「ごはん・うさちゃんハンバーグ・もやしのおひたし・かき玉汁・お月見ゼリー・牛乳」でした。かき玉汁の中にも、かまぼこのお月様がありました。食事って、味だけではなく、視覚的にもおいしさを伝えることができるんですね。子どもたちも、きっと、にっこりしながら食べたことでしょう。



10月の満月はいつだったのかと言いますと、6日(月)が『中秋の名月』、そして7日(火)が『ハンターズムーン』でした。

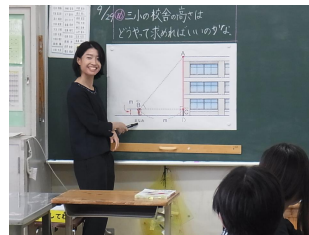
『ハンターズムーン』とは、アメリカの先住民が10月の満月に名付けた名前です。月明かりが強いため狩りがしやすいことから、そう名付けられたそうです。

秋の夜長・・・心静かに月を眺める・・・やってみたいものです。

◇今年度2回目の「全体授業研究会」が行われました。

安積第三小学校では、「学びの変革を目指して ～算数科の授業を通して一人ひとりの資質・能力の育成～」という研究テーマのもと、先生方は日々、子どもたちの学びの向上に向けて熱心に取り組んでいます。また、子どもたちに『学びへ向かう力』『学び合う力』『学びを生かす力』を身に付けてほしいと考え、子どもたちの学びに寄り添った「授業づくり」に努めています。

年間で、全学級で研究授業を実施していますが、先日、9月29日(月)には、6年2組において、全体研究授業が行われました。この日は、外部講師として田村市立常葉小学校 校長 柳田憲子先生にお願いいただき、算数科の授業についてたくさんの指導助言をいただくことができました。



授業では、子どもたちがしなやかに学び合っている姿をたくさん見ることができました。子どもたちが大きく育っています。

校長のひとりごと

息子が以前、ネットで購入したゲームがあります。一見ルービックキューブのように見えますが、これはルービックケージというゲームなんです。ひねって、ひっくり返して、裏返して・・・展開がどんどん変わる、立体3目並べです。しかも、3つの段は横にも回転します。一人一人、順に入れていき、早く縦・横・斜めのどこかに3つの色がそろえば勝ち・・・なんですが、そう簡単ではありません。



常に上、下、横と、360度から見つめ、回転すればどうなる、ひっくり返すとどう変化するなどを考える・・・まさに「脳トレ」です。「物事を真正面からだけ見ていても、前に進めない」ということは世の中、たくさんあります。「多面的に物事を見つめること」「頭の中でイメージすること」「先を見通して考えていくこと」・・・子どもたちにも備わってほしい力があります。このゲーム、まだ息子には、1勝もできていません。脳トレ・・・がんばらねば！！